

1級損害保険登録鑑定人

簿記会計

試験問題用紙

(2023年1月)

注意事項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容をマーク・記入すると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効（得点なし）となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は、解答用紙の該当する問題の解答欄に楷書で記入してください。
6. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外（万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等）は使用不可です。
7. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
8. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
9. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
10. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
11. 試験時間は正味50分です。
12. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
13. 試験時間中の私語は禁止します。
14. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
15. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
16. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
17. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

【問題 1】

次の1～5の取引の仕訳を解答用紙に記入して下さい。

なお、勘定科目は下記の勘定科目表から最も適当なものを選んで下さい。

1. A 商事株式会社は、株主総会において繰越損失（繰越利益剰余金勘定の借方残高）700,000 円をてん補するため、別途積立金 700,000 円を取り崩すことを決議した。
2. 6 月 12 日に売買目的で額面 300,000 円の B 商事株式会社の社債を、額面 100 円につき 97 円で買い入れ、代金は買入手数料 6,000 円および端数利息を含めて小切手を振り出して支払った。なお、この社債の利率は年 4%、利払日は 3 月および 9 月の各末日の年 2 回であり、半年分（月割）ずつ支払われる条件となっている。端数利息は 1 年を 365 日として日割で計算する。
3. C 産業株式会社は、実質的に支配している D 商事株式会社の財政状態が悪化したので、保有する同社の株式 110 株（帳簿価額 13,200,000 円）を実質価額によって評価替えした。なお、D 商事株式会社の資産総額は 30,000,000 円 負債総額は 19,200,000 円で、発行済株式数は 200 株であり、市場価額のない株式である。
4. E 商事株式会社（決算年 1 回）は、次の条件で発行した社債のうち、額面 30,000,000 を発行後 5 年目の初頭に額面 100 円につき 98.80 円で買入償還し、小切手を振り出して支払った。なお、社債の評価は償却原価法（定額法）による。

<u>発行条件</u>	額面総額	60,000,000 円	償還期限	10 年
	払込金額	額面 100 円につき 97.60 円	利率	年 1.4%
5. 取得原価 2,000,000 円の鉱業用機械装置（残存価額はゼロ）について、生産高比例法による減価償却に関する決算整理仕訳を行った。ただし、この鉱区の推定埋蔵量は 200,000 トン 当期採掘量 25,000 トンである。なお、記帳は直接法によること。

《勘定科目表》

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	形
売買目的有価証券	子 会 社 株 式	機 械 装 置	機 械 装 置
鉱 業 権	機 械 装 置 減 価 償 却 累 計 額	支 払 手 形	支 払 手 形
買 掛 金	社 債	資 本 金	資 本 金
資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	別 途 積 立 金	別 途 積 立 金
繰越利益剰余金	有 価 証 券 利 息	有 価 証 券 売 却 益	有 価 証 券 売 却 益
支 払 利 息	子 会 社 株 式 評 価 損	社 債 償 還 益	社 債 償 還 益
減 価 償 却 費	有 価 証 券 売 却 損	社 債 償 還 損	社 債 償 還 損

【問題2】

K S 製作所における次の資料と製造勘定によって、単純総合原価計算表のア～オの金額を求めてください。ただし、素材は製造着手のときにすべて投入され、月末仕掛品原価の計算は平均法によるものとし、減損は工程の始点で発生しています。

資料

- ① 生産データ：月初仕掛品 200 個（加工進捗度 60%）減損 20 個
 月末仕掛品 140 個（加工進捗度 50%）完成品 840 個
- ② 製造勘定の前月繰越の内訳：素材費 ¥144,300 加工費 ¥117,300

製		造	
前月繰越	261,600	製品	1,398,600
素材	576,000	次月繰越	168,000
賃金	367,000		
減価償却費	80,000		
給料	119,000		
退職給付費用	34,000		
雑費	20,000		
健康保険料	25,000		
電力料	57,000		
工場消耗品	25,000		
棚卸減耗損	2,000		
	1,566,600		1,566,600

単純総合原価計算表

摘要	素材費	加工費	合計
材料費		ア	
労務費		イ	
経費			
計			
月初仕掛品原価			ウ
計			
月末仕掛品原価	エ		
完成品原価		オ	
完成品数量	840 個	840 個	840 個
製品単価	¥	¥	¥

【問題3】

次の元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項に基づき、損益計算書と貸借対照表を作成し、空欄の1～10に当てはまる金額を解答用紙に記入してください。ただし、決算日は令和5年3月31日とします。

〈元帳勘定残高〉 単位：千円

現金	980	当座預金	2,400	受取手形	1,300
売掛金	1,900	貸倒引当金	70	売買目的有価証券	1,350
繰越商品	7,000	仮払金	400	貸付金	5,000
備品	4,000	減価償却累計額	2,400	土地	12,000
支払手形	500	買掛金	1,210	退職給付引当金	420
資本金	25,850	資本準備金	400	利益準備金	200
繰越利益剰余金	300	売上	59,000	受取利息	85
仕入	41,000	給料	11,000	広告料	650
支払家賃	860	保険料	380	雑費	215

〈付記事項〉

- ① 売掛金のうち100千円はF商店に対する前期のものであり、同店はすでに倒産しているため貸倒れとして処理することにした。
- ② 仮払金400千円は、法人税等の中間申告納付額350千円、売買目的で購入したG社株式50株の買入手数料50千円であることが判明した。
- ③ 貸付金5,000千円は、令和8年10月末に返済を受ける契約である。

〈決算整理事項〉

1. 期末商品棚卸高 帳簿棚卸数量 400個 原価 20千円
実地棚卸数量 380個 正味売却価額 18千円
2. 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対して、それぞれ2%見積もる。
3. 売買目的有価証券の評価 売買目的有価証券1,350千円は、すべてG社株式である。
G社株式 50株 1株の時価 25千円
4. 備品の減価償却 定額法によって計算し、残存価額は零(0)とし、耐用年数は5年とする。
5. 保険料の繰延べ 保険料は毎年11月1日に向こう1年分を支払うことになっており、繰り延べ計上する。
6. 受取利息の繰延べ 貸付金の利息は毎年9月1日に向こう1年分を受け取ることになっており、繰り延べ計上する。
7. 退職給付引当金当期計上額 80千円
8. 法人税・住民税及び事業税額 1,100千円

損益計算書

自令和4年4月1日至令和5年3月31日

(単位:千円)

I 売上高	()	
II 売上原価		
1 期首商品棚卸高	()	
2 ()	()	
合計	()	
3 ()	()	
	()	
4 商品評価損	()	
5 棚卸減耗損	()	(1)
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		
1 ()	()	
2 ()	()	
3 ()	()	
4 ()	()	
5 貸倒引当金繰入	(2)	
6 保険料	(3)	
7 ()	()	
8 ()	()	()
()		()
IV 営業外収益		
1 ()	()	()
V 営業外費用		
1 ()	30	
2 ()	(4)	()
税引前当期純利益		(5)
法人税・住民税及び事業税		()
当期純利益		()

貸借対照表

令和5年3月31日

(単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	()	支払手形	()
受取手形	()	買掛金	()
貸倒引当金	()	未払法人税等	()
()	()	()	(8)
貸倒引当金	()	II 固定負債	
()	()	()	(9)
()	()	負債合計	()
()	()		
II 固定資産		I 資本金	()
備品	()	II 資本剰余金	
減価償却累計額	()	()	()
土地	()	III 利益剰余金	
()	(7)	利益準備金	()
		()	(10)
		純資産合計	()
資産合計	()	負債及び純資産合計	()

